

事務事業名		水産物供給基盤機能保全事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																									
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																										
	施策名	0 1 地域活力を担う水産業の振興		区分																										
	基本事業名	0 2 漁業経営の安定支援		期間限定複数年度																										
根拠法令		-		※期間欄に計画期間を記入																										
所属	部課名	農林水産部水産課		【計画期間】																										
	課長名	新沼 秀樹		令和4 年度～ 令和9 年度																										
	係名	漁港漁村係	電話	0192-27-3111																										
	担当者	熊谷 孝弥	内線	378																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				※全体計画欄の総投入量を記入																										
①漁港施設の機能保全計画に基づく施設修繕及び計画見直しにかかる点検調査等を実施する。 ②具体的な業務(事務)は以下のとおり。 ア.工事発注及び監督業務、イ.補助事業実施に係る計画策定・認可・申請・遂行状況報告・請求等の手続き ③事業費は、漁港施設の修繕及び点検調査に使われている。 ④財源は、水産庁の水産物供給基盤機能保全事業費補助(1/2)を活用し、令和4年に蛸ノ浦漁港北防波堤の修繕設計を行い、令和5年度より修繕工事を実施している。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>266,568</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>266,500</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>533,258</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>4,930</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>19,720</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>552,978</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	0	都道府県支出金	266,568	地方債	266,500	その他	0	一般財源	190	事業費計(A)	533,258	人件費	正規職員従事人数	2	延べ業務時間	4,930	人件費計(B)	19,720	トータルコスト(A)+(B)		552,978
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	0																										
		都道府県支出金	266,568																											
		地方債	266,500																											
		その他	0																											
		一般財源	190																											
	事業費計(A)	533,258																												
	人件費	正規職員従事人数	2																											
延べ業務時間		4,930																												
人件費計(B)		19,720																												
トータルコスト(A)+(B)		552,978																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) ・蛸ノ浦北防波堤の修繕工事L=12.1mを行った。 ・蛸ノ浦物揚場(矢板式)5-19~20,24の計画見直しL=102mを実施した。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 機能保全計画見直し実施箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ 修繕完了箇所(計画期間延べ)</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 機能保全計画見直し実施箇所	箇所	イ 修繕完了箇所(計画期間延べ)	箇所	ウ	
名称	単位								
ア 機能保全計画見直し実施箇所	箇所								
イ 修繕完了箇所(計画期間延べ)	箇所								
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・蛸ノ浦北防波堤の修繕工事L=24mを行う。									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・市管理の漁港施設等	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 機能保全計画見直し必要箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>キ 修繕必要箇所(計画期間)</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 機能保全計画見直し必要箇所	箇所	キ 修繕必要箇所(計画期間)	箇所	ク	
名称	単位								
カ 機能保全計画見直し必要箇所	箇所								
キ 修繕必要箇所(計画期間)	箇所								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
・計画的な修繕を行うことで漁港機能を維持する。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 機能保全計画見直し率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 修繕率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 機能保全計画見直し率	%	シ 修繕率	%	ス	
名称	単位								
サ 機能保全計画見直し率	%								
シ 修繕率	%								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
・漁港施設の長寿命化が図られ、ライフサイクルコストが低減する。 ・安全で快適な漁業活動が継続される。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)
				千円						
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円			0	3,129	41,350	126,550	81,000
		地方債	千円			0	3,100	41,300	126,600	81,000
		その他	千円			0	0	0	0	0
		一般財源	千円			0	30	70	50	0
		事業費計(A)	千円		0	0	6,259	82,720	253,200	162,000
		トータルコスト(A)+(B)	千円		0	720	9,259	85,920	256,400	165,200
⑤活動指標	人件費	正規職員従事人数	人		1	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間		180	750	800	800	800	
		人件費計(B)	千円	0	720	3,000	3,200	3,200	3,200	
⑥対象指標	活動指標	ア	箇所			0	0	1	0	0
		イ	箇所			0	0	0.0	0.0	3
		ウ								
		カ	箇所			0	0	1	0	0
⑦成果指標	対象指標	キ	箇所			3	3	4	4	4
		ク								
		サ	%			-	-	100.0%	-	-
⑦成果指標	対象指標	シ	%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
		ス								

事務事業ID	1844	事務事業名	水産物供給基盤機能保全事業
--------	------	-------	---------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 平成26年8月に水産庁が策定した「インフラ長寿命化計画(行動計画)」では、水産庁が所管するインフラの個別施設計画を令和2年度までに策定することとされており、また、関連事業の実施要領等では機能保全計画の策定が実施要件となっている。そのため、市営16漁港の内、補助対象となる8漁港は平成28～30年度に、残りの漁港については令和2年度に機能保全計画を策定したところである。この計画に基づき、施設の機能診断において健全度の評価がA判定(施設の主要部に著しい老朽化が発生)となった蛸ノ浦北防波堤外2施設について修繕工事を実施していく。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 策定済みの計画については、施設の構造型式や健全度に応じて、順次、定期点検および機能保全計画の見直しが必要となる。特に、鋼構造(矢板・杭式)の施設については健全度の評価に関わらず、腐食状況に応じて計画見直しにかかる再調査を行わなければならない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 特になし。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▼ 理由・内容 漁港施設の維持管理体制の充実、漁港施設の充実につながり、良好な漁業就業環境を保ち漁業経営の安定化に資することができる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▼ 理由・内容 市管理漁港の適正な維持管理は市が行わなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▼ 理由・内容 対象、意図とも適切であり、見直しする余地がない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▼ 理由・内容 市単独事業費を増額すれば、補助対象外の漁港についても対応が可能となり、成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▼ 理由・内容 本事業を廃止・休止すれば、将来的に施設の不具合箇所が発生した際に、漁業活動に支障をきたす。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▼ 理由・内容 適切に修繕と点検を実施することで施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減を図ることが出来るため削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▼ 理由・内容 必要最低限の人員で事業実施したものであり、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▼ 理由・内容 漁港施設は、主として漁業者が利用しているが、多面的な機能を有し、広く一般市民も利用する公共的な施設であることから、受益者負担にはなじまないものである。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性 1 現状維持 ※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。(現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」)(終了・廃止・休止の場合は記入不要)	(2) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 修繕事業と並行して、定期的な施設点検により機能保全計画を適切に見直ししていく必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性 1 現状維持	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 令和2年度に策定した機能保全計画を踏まえ、計画的な事業実施が必要である。
----------------------	---